

## 平成20年度 園芸特産業関係功労者表彰受賞者功績概要

(敬称略)

### 丸茂 伊一 (茅野市)

昭和45年に水稻の生産調整開始を契機としたセルリー専業への切り替え以降、生産拡大とともに出荷期の拡大にいち早く取り組み、施設栽培と露地栽培を組み合わせた長期連続出荷体系の確立と諏訪地域における普及拡大に尽力された。また、夏期のセルリーの品質向上を目指し、盛夏期に栽培される品種の8割以上を占める「諏訪3号」などの育成及び採種事業に尽力され、さらには、地域リーダーとして生産出荷組織の統合や畑地灌漑設備の整備にも取り組み、夏場の高品質なセルリーの安定生産とともに、全国一の産地シェアの確保と強固な産地育成に大きく貢献された。

### 松木 修治 (茅野市)

伝統的な天然角寒天の製造販売とともに粉末寒天の増産販売に積極的に取り組み、省力的・効率的な製造方法を確立するなど、業界において先駆的な役割を果たしてきた。また、乾物問屋へのお荷が主流であった角寒天の販売について、スーパーマーケットという新たな販路を開拓して消費の促進に尽力された。特に、県寒天水産加工業協同組合の理事あるいは組合長就任以降、トマト寒天をはじめとする健康志向食品等、寒天の新しい食べ方を提案するなど、業界のリーダーとして積極的な広報・宣伝により需要の拡大に尽力され、寒天の生産販売量の拡大に大きく貢献された。

### J A上伊那花卉部会 (伊那市)

市場における販売形態などの多様化を契機として、平成15年に夏秋期切花の鮮度保持流通の新しいシステムである「湿式縦箱方式(TKシステム)」を開発・導入し、実需者から高い評価を得る出荷体制を確立させた。同方式は、簡易な容器で輸送中に給水が可能な仕組みを採用するとともに、生産者はもとより生花店においてもマニュアルにより鮮度保持の徹底を図るものである。この新しいシステムにより、夏の高温期に鮮度が高く日保ちの良い切花供給が可能となったことから、現在は、県内の多くの産地で導入が進み、県産花きの鮮度保持流通の改善に大きく貢献された。

## 大村 嘉汎（松本市）

昭和50年頃から独自の創意工夫により、ぶどうの育種と育成品種の栽培技術の確立に取り組み、多くの優れた品種育成に尽力された。中でも平成6年に品種登録した「黄華」は、大粒で食味が良好、種なしで皮ごと食べられ、現在のぶどうの消費者嗜好に合致する優秀な品種である。地元のJA松本ハイランドではこの黄華に着目し、産地化・ブランド化を目指して平成16年に「黄華プロジェクト」を立ち上げたが、大村氏はこの取り組みに対し、栽培マニュアルの作成・講習会講師等の技術指導や優良苗木の生産供給など全面的に支援を行い、黄華の生産拡大とブランド確立に大きく貢献された。また、黄華は長野・北信など県内の他地域に栽培が広がりつつある。

## 原 今朝生（松本市）

昭和30年後半からりんご主体の経営に転換以降、旧梓川村内はもとより、県内外におけるりんご生産のリーダーとして活躍され、りんご振興に大きく貢献された。また、ふじの着色系選抜に尽力され、昭和40年に発見した「長ふ1」が着色系選抜の全国的な先駆けとなるとともに、昭和50年に発見した「長ふ12」は県の奨励系統に位置付けられ、県下全域でふじの省力高品質生産に大きく貢献された。さらに、M9ナガノ自根台木を活用したわい化栽培にいち早く取り組むとともに、平成5年に始まった果樹試験場による現地試験に積極的に協力し、同台木の有利性の実証に尽力された。その成果は県が平成12年度に普及に移し、現在「新しい化栽培」として推進が図られている。

## 米澤 稔秋（上水内郡飯綱町）

平安時代に中国から伝来したりんご（和リンゴ）の改良種で、旧牟礼村高坂地区に数本残るのみとなってしまった同地区固有の「高坂林檎」について、昭和56年に最後の1株から株分けを行い、10年間を掛けて見事に結実させ、種の維持継承に大きく貢献された。また、株分けによる苗の育成と配布及び永年培った栽培管理・増殖技術の指導を積極的に行い、保存活動を地域にも波及させた。さらに、この保存活動は、飯綱町による高坂林檎を活用する取り組みを誘起し、ジャム、シードルの特産品開発など新たな展開へとつながった。

## 荻原 安治（中野市）

就農後りんご一筋の経営を行う一方、JA等関係団体の役職を務め、市内はもとより県内のりんご生産のリーダーとして活躍され、りんご振興に大きく貢献された。特に、産地間競争が激化した昭和末期に、JA中野市管内で「味と密入り」にこだわった「完熟したサンふじ」の栽培気運が高まる中、共選所指導部長として「完熟ふじ栽培方針」の策定に尽力された。さらに、その方針に基づいて栽培する農家による「冠雪ふじ栽培研究会」を立ち上げるとともに、代表者として厳格なマニュアルによる栽培、集荷等を推進し、高品質なブランド戦略品「冠雪ふじ」の生産と銘柄確立に大きく貢献された。